



# 各種大会結果報告

今年度も各地で様々な大会が開催されました。各大会の結果をご報告します。

## ステージ発表

11月17日(土)に第18回ステージ発表が、神奈川県総合リハビリテーションセンターの体育館にて開催されました。生憎の空模様の中での開催となりましたが、会場の熱気はそれを吹き飛ばすものとなったと感じています。

今回のテーマ『DEAR FRIENDS～僕らの音楽 あなたに届け～』、合同発表曲『世界に一つだけの花』には、発表参加者と観覧者の心をつにし、一体感のあるステージとしたいという思いが詰まっています。

11施設から大勢の利用者が参加し、それぞれが日頃の成果を発揮しようと一生懸命に発表し、会場が一つになれたように思います。

スペシャルゲストとして、兄弟デュオのけい太とこう太(K&K)さんを招待しました。ステージ発表前と発表後のスペシャルステージで会場の雰囲気を盛り上げていただきました。ここ数年の恒例となった各参加施設作成のパネルや演目(めぐり)も、発表とともに会場を彩っていました。

文化委員会 事務局 よこはまりバーサイド泉 坂井 隆浩

## 作品展示・販売

第18回作品展示・販売が、1月17日(木)～1月20日(日)の4日間、かながわ県民センター1F展示場にて開催されました。期間中は晴天に恵まれ、昨年度に比べ開催日が1日少ないにも関わらず、約300名の方々にご来場いただきました。

作品展示には県内の加盟施設13施設が参加して、作者の思いや気持ちを油絵・ちぎり絵などで表わしたものの、その他に詩、工芸、陶芸、書道、手芸、写真と様々な作品が展示されていました。販売には5施設が参加して、各施設の利用者の方が製作されたパンをはじめとした洋菓子、小物入れ、キャンドルが販売されていました。それぞれの部門での準備や販売は、利用者の方々も参加して、展示や接客を一生懸命にされている姿がみられました。

今回の『自己満祭～伝えたい この思い～』というテーマのもと、たくさんの個性溢れる思いが、来場されたたくさんの方々に通じた展示会だったと感じました。

文化委員会 事務局 よこはまりバーサイド泉 福田 淳

## ローリングバレーボール大会

今年も、神奈川県身体障害施設協会主催による「第23回ローリングバレーボール大会」が、9月29日(土)に座間市立「スカイアリーナ」で開催されました。県内各地の障がい者事業所チームやクラブチームから16チームが参加し、Aブロック、Bブロック、Cブロックに分かれて歓喜や声援を受けてのエキサイティングな熱戦の連続となりました。

また、ブロックによっては和やかに楽しむゲーム展開となり、各試合が選手並びに応援された方々に思い出として残っているものと確信しております。

	Aブロック	Bブロック	Cブロック
優勝	ハッスルかわせみ	ソーレ平塚	足柄リンクス
準優勝	江ノ島バナナボーイズ	ドラゴン No.1	チームくろふね
3位	ヨコハママケシラズ	丹沢ピーナッツ	グリーンウィズ

なお、大会結果は表のようになりました。

第24回大会にも、多くのチームが参加を頂きますようお願いいたします。

体育委員会 アガベセンター 田中 誠一



ステージ発表



卓上競技大会



作品展示



## 卓上競技大会

平成25年2月2日(土)、神奈川県総合リハビリテーションセンター体育館にて第45回卓上競技大会が開催されました。

当日は小雨の中、選手150名に付き添い者、応援、見学を含めると総勢約300名が集まり、熱戦が展開されました。また、最も印象的な選手紹介ポスターに贈られる審査員特別賞には、今年は選手たちの似顔絵が印象的だった、「上九沢身体障害者デイサービスセンター」が選ばれました。

試合結果は以下の通りです。

(スペースの都合で個人は優勝者のみの紹介です。ご容赦ください。)

来年も皆さんのご参加をお待ちしております。

卓上競技委員会 事務局 リエゾン笠間 西村

囲碁の部	優勝 中川 正昭さん(シャローム浦上台)
連珠の部	優勝 郡司 和徳さん(丹沢レジデンシャルホーム)
将棋の部	優勝 千葉 徳雄さん(七沢更生ライトホーム)
挟み将棋の部	優勝 佐藤 一明さん(アガベ壱番館)
オセロの部	優勝 小峰 由紀さん(ソーレ平塚)
オセロの部(ダブルス)	優勝 鈴木 祐二さん(秦野ワークセンター) 日比野 克明さん(秦野ワークセンター)
団体の部	優勝 アガベ壱番館(30点) 準優勝 太陽の門デイサービスセンター(22点) 第3位 湘南希望の郷(22点)
審査員特別賞	上九沢身体障害者デイサービスセンター

## 編集後記

- ◆今年度も、多くの皆様のご協力をいただき、計画どおり「みらい」を発行する事ができました。寄稿いただいた多くの方々に感謝申し上げます。皆さんの興味ある情報が共有できる紙面として、今後も活用できればと思っております。(佐藤)
- ◆2年にわたって広報委員会の事務局を担わせて頂きました。思えば、被災地支援の特集号に始まりました。本誌では前号でも記事として扱わせて頂きました。なるべく息の長い支援を。あれから2回目の春の訪れに、また気持ちを新たにしております。(向井)
- ◆委員になって改めて、身障協の活動を知る機会が増えました。中でも、今年度は東北被災地への派遣活動など、胸に迫るものがありました。様々な活動をご紹介しながら、つながりを大切に、これからも多くの方に読んでいただける広報紙であることを願っております。(染谷)
- ◆3年間「みらい」の編集作業に関わらせていただきました。終わってみればあっという間の3年間、巻頭ページの文章は毎回勉強になりました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。(町田)